

交通

札幌市総合交通計画

【策定】平成24年（2012年）1月 【目標年次】平成42年度（2030年度）

「札幌市総合交通計画」は、「第4次札幌市長期総合計画」及び「札幌市都市計画マスタープラン」などの札幌市における上位計画や、道央都市圏の「都市交通マスタープラン」の基本方針の趣旨を踏まえ、札幌市を取り巻く様々な課題に対応した「将来交通計画」であるとともに、より効果的・効率的に事業展開が図れるよう「各種交通施策・事業を体系化（パッケージ化）した総合的な都市交通計画」であり、札幌市の交通に関する個別計画等を策定・実施する上での“指針”として策定しました。

【計画理念】

「暮らし」・「活力」・「環境」を重視する公共交通を軸とした交通体系の実現

～あるべき将来都市像を実現する「バランス」を考慮した都市交通を目指して～

【3つの視点】

暮らし

「地域生活の確保」に寄与する交通を実現するための「暮らし」の視点

活力

「都心の活性化」、「観光振興」、「広域連携強化」に寄与する交通を実現するための「活力」の視点

環境

「環境負荷の低減」に寄与する交通を実現するための「環境」の視点

【3つのバランス】

●「公共交通を軸とした交通体系の確立」と「適切な自動車交通の実現」による**公共交通と自動車**のバランス

●「つくる」から「活かす」、「上手につかう」といった視点の転換に伴う**整備と活用**のバランス

●「公共交通の維持」や「地球温暖化対策」に対する**行政、市民・企業、交通事業者の役割**のバランス

【基本方針】

暮らし

地域特性に応じた**拠点のまちづくり**を支える

- 日常生活を支える各拠点の特性に合わせて、地域の魅力を引き出します
- 多様な商業・業務機能、行政機能などの各種都市サービス機能を支援します

活力

道都さっぽろの顔となる**都心まちづくり**を支える

- 通過するだけの不必要な自動車利用を抑制し、人を中心とした安心・安全な都心交通環境を創出します
- 北海道経済を牽引し、その機能を持続・発展させる市民活動・経済活動を支援します

さっぽろの**都心観光**を支える

- 外国人などを含む多様な来訪者に対応します
- さっぽろの魅力をより一層楽しんでもらえるよう都市観光を支援します

圏域連携のための**広域交通**を強化する

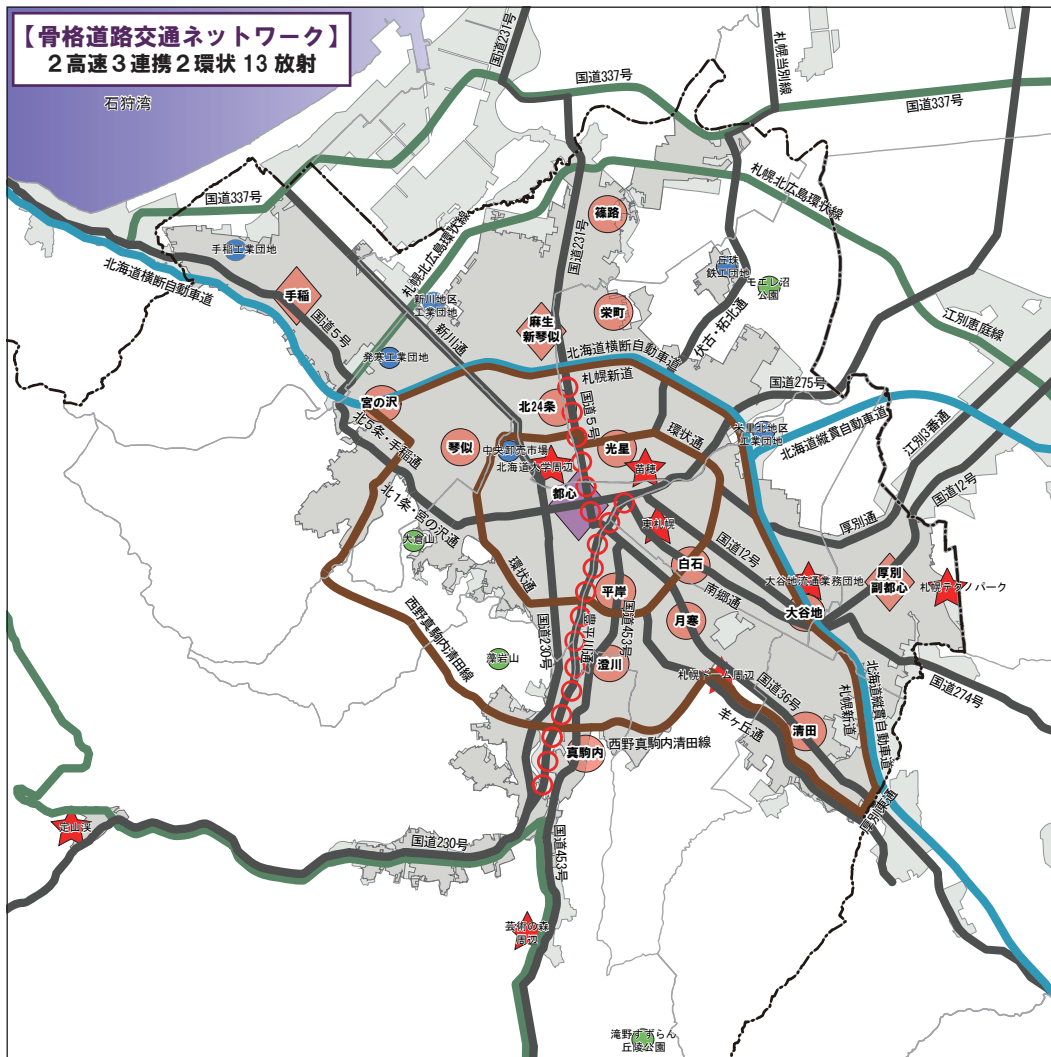
- 広域的な拠点間の連携強化を図り、都市の活力を向上させます

環境

交通システムの充実により**環境首都・札幌**の実現を支える

- 公共交通の利用促進や自動車利用の適正化を図ります
- 交通の円滑性や乗継利便性等を向上させます

【骨格道路交通ネットワーク】 2高速3連携2環状13放射



凡例

	高速交通体系 (高速道路等)
	連携道路
	環状道路
	放射道路
	骨格道路軸 (一般道路)
	都心アクセス強化道路軸
	都心
	高次都市機能拠点
	広域交流拠点
	地域中心核
	主な観光地
	主な物流関連施設
	札幌市域
	市区町界
	市街化区域
	D I D 区域

骨格道路交通ネットワーク（広域的交通ネットワークを含む）

公共交通

平成 28 年 3 月 31 日現在

公共交通ネットワークは、最も需要密度の高い区間に地下鉄などの大量公共交通機関を基軸として配置し、後背圏からのバスネットワークを各駅に接続することなどにより、都心等へ向かう広範な交通を大量交通機関に集中させることを基本としています。

近年、公共交通の利用者数は緩やかな増加傾向にあります。今後も公共交通の継続的な利用が図られるように、地下鉄・JR・路面電車・バスなどの円滑な接続や、個々の公共交通の利便性の向上に努めていく必要があります。

● 鉄道

項目	函館線	千歳線	札沼線	合計
J R 札幌市内駅の 日平均乗車人員	173,376 人	19,650 人	21,697 人	214,723 人
札幌市内駅数	14 駅	3 駅	9 駅	26 駅
札幌市内路線延長	27.5km	8.0km	15.1km	50.6km
項目	南北線	東西線	東豊線	合計
地下鉄 日平均乗車人員	227,690 人	226,679 人	148,369 人	602,738 人
駅数	16 駅	19 駅	14 駅	49 駅
路線延長	14.3km	20.1km	13.6km	48.0km

● バス

項目	数 値
日平均乗車人員	293,066 人

● タクシー

項目	数 値
日平均乗車人員	54,768 人
登録台数	5,943 台

道路

地下鉄等の大量公共交通機関との適正な役割分担を踏まえながら、2 高速 3 連携 2 環状 13 放射道路を骨格とした幹線道路網を形成することにより、道路混雑緩和による経済活動の活性化、環境への負荷低減、良好な住環境の確保を目指し、既存道路の有効活用を基本としつつ、道路網の機能強化を推進しています。

● 道路の主要指標

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

名 称	延長 [km]
高速自動車道	38.00
一般国道	152.26
道道	237.90
主要道道	136.94
一般道道	100.95
市道	5,268.25
主要市道	56.94
一般市道	5,211.32
自転車・歩行者専用道	105.38
道路実延長	5,801.80

● 駅前広場

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

場 所	箇所数
J R 駅	24
地下鉄駅	3
合 計	27

● 都市計画道路

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

項 目	延 長 [km]	
	計 画	改良済
自動車専用道路	25.60	25.60
幹線街路	779.08	721.88
区画街路	32.39	29.68
特殊街路	37.24	36.26
合 計	874.31	813.42

自動車ターミナル

平成 28 年 10 月 1 日現在

主要な地下鉄駅・JR 駅で円滑な乗継が行えるようにバスターミナルを整備しています。

種 類	箇 所 数	
	全 体	都市計画決定分
乗継バスターミナル	18	5
都心バスターミナル	3	2
その他	2	0

事例 ▶ 路面電車のループ化



西 4 丁目停留場とすすきの停留場を札幌駅前通で結び、新たな整備区間では歩道側を走行するサイドリザーション方式を採用して、利用者の利便性と路面電車のまちづくりへの活用を図っています。

● 路面電車

項目	数 値
日平均乗車人員	22,774 人
停留場数	24 箇所
路線延長	8.905km

● 北海道新幹線

項目	数 値 等
(新函館北斗～札幌間)	
延長	211km
完成・開業予定※	平成 42 年度末 (2030 年度末)

※ H27.1 政府・与党整備新幹線検討委員会より

● 空港

項目	数 値 等	項目	数 値 等
名称	丘珠空港 (正式名称 札幌飛行場)	就航路線	道内 3 空港 (函館、釧路、利尻)
滑走路延長	1,500 m		道外 2 空港 (三沢 (青森県)、静岡)
年間利用者数	214,320 人		

駐車場

駐車需要に対応するため、駐車場整備地区を定めるほか、新築建物への駐車場附置の義務づけなどの自動車駐車場の整備、都心や駅周辺の自転車駐車場の整備を進めています。

● 駐車場整備地区

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

駐車場法第 3 条第 1 項に基づき、駐車場整備地区として都市計画決定しています。

【面積】 約 383ha



駐車場整備地区

● 駐車場

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

種 別	箇 所 数	
	総 数	駐車場整備地区内
都市計画	2	2
届出	190	91
附置義務	3,317	942

● 自転車駐車場

(平成 28 年 9 月 30 日現在)

場 所	箇所数	台 数
J R 駅	97	286
地下鉄駅	191	※ 30,312

※このうち、5 か所を都市計画駐車場として都市計画決定しています。

広場

平成 29 年 4 月 1 日現在

右表の 2 箇所を広場として都市計画決定しています。

名 称	面積 [ha]
北 3 条広場	約 0.28
大通交流拠点地下広場	約 0.65
合 計	約 0.93